

平成 30 年 8 月  
海外電力調査会

平成 30 年度 JICA 課題別研修「ガスタービン・石炭火力発電の  
メンテナンス技術向上(A)」コースの実施について

当調査会では、独立行政法人国際協力機構（JICA）からの委託を受け、開発途上国から研修員を受入れ、関係機関の協力により電力分野における専門知識や技術の移転を行っています。

今回、株式会社パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービスさまのご協力により下記のとおり研修を実施いたしました。

技術研修期間	平成 30 年 5 月 31 日（木）～ 7 月 17 日（火）
受入機関	一般社団法人 海外電力調査会 株式会社パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス
研修員	タンザニア(1)、ミャンマー(1)、モザンビーク(2)、バングラデシュ(1) 計 5 名
研修内容	・ 講義： 日本の電気事業概要、火力発電所の人材育成、非破壊検査技術、余寿命診断技術、ガスタービン・コンバインドサイクル発電技術、振動基礎技術、環境保全への取り組み、日本の TQM 等  ・ 視察： コンバインドサイクル発電所（中国電力）、石炭火力発電所（電源開発）、ガスタービン製造工場（三菱日立パワーシステムズ）、石炭ガス化複合発電所（大崎クールジェン、常磐共同火力株式会社） 等

